



報告

令和七年
真宗大谷派
大塚山
西来寺

報恩講



西来寺のホームページでは、当日に撮影した勤行と講演の写真などをご覧いただけます。

つゆのまるこ
《記念講演》 講師 露の団姫 師

講題

仏教が好きっ!!

第1部
落語

まずは一席。・・・とその前にみんながつい声を出したくなるような古典の小話。本堂はさっそく「そう、そう!」「ちゅう、ちゅう!!!」客席の合唱と笑いの波がおこります。

演目は「お血脉（おけちみやく）」親鸞聖人にも縁のふかい長野県の善光寺のお話です。

「阿弥陀さんのチカラでお肌プルプル」なーんて、マルコさんの現代スパイスをふんだんに効かせながらの古典落語です。

団姫さんは、高校生で鬱（うつ）になってしまったときのことでも語ってくれました。

「今日は、死なない」と、仏さんに約束しながら、辛い日々をなんとかやり過ごしました。自死自傷は当事者にとつても、まわりにいる人たちにとつても非常に辛いものです。そういうみなさんに安心して話をしてもらえる場所を作りたかった。だからお寺を作りました。」

団姫さんの明るい笑顔には、とても強い信念の支えがあるからなのだと感じました。

私がどうしてもお寺を作りたかつた理由



西来寺のホームページでは、当日に撮影した勤行と講演の写真などをご覧いただけます。



令和7年10月28日（火）、日差しも暖かい穏やかな爽秋に恵まれ、本堂では用意していた補助の椅子も開会後間もなく満席になりました。



今回、露の団姫さんとの縁を結んでくださった大塚守さんも滋賀から駆けつけてくださいました。

第2部
法話

「すべての命が平等である。すべての命が大切である。」すべての命が

「じやあゴキブリは？ 平等とは？」

思い込みはせず、物事がありのままに見ましょう。ということを、仏教では「正見（じょうげん）」といいます。また、差別のことを「しゃべつ」と呼び、いわゆる「区別」のことをいいます。

現代語では差別と区別はまったく意味が違いますね。「区別」とはものごとそのものの違いを云います。一方「差別」とは、区別をもとに不当に低く取り扱うことになります。例えば、女性だけを一律に減点していました。某医科大学の受験がニュースになりました。これは差別です。

